

第1回 舞鶴クレインブリッジ専門家会議の開催について

舞鶴クレインブリッジの損傷についての確かつ早期の復旧を目指すため、学識経験者等による「第1回 舞鶴クレインブリッジ専門家会議」を開催いたします。

同橋は9月23日に、橋桁を支える「支承」を構成するステンレス合金製のローラーに損傷が見つかり、9月29日から全面通行止めとしているものです。

会議は、委員5名で構成。(別紙名簿のとおり)

損傷原因の調査と対策工法を検討します。

1. 第1回 舞鶴クレインブリッジ専門家会議の開催

○開催日 令和2年10月19日(月)

○第1部：現場確認 13:00～ 現場(舞鶴クレインブリッジ)

○第2部：会議 14:15～ 舞鶴市役所別館5階中会議室

○議事：

- ・専門家会議について
- ・損傷状況および経過について
- ・今後の対応について

※橋の規模および損傷状況に例が無いことから、会議を設置するものです。

2. 会議の公開について

会議は公開していますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、一般の傍聴者は先着10人までとします。また、傍聴に際しては、新型コロナウイルス感染発生時に備え、マスクの着用と、氏名・住所・連絡先の情報提供にご協力をお願いいたします。

なお、当日は、体調不良の方、発熱されている方(37.5℃以上)の傍聴をお断りいたします。

3. 留意事項

第1部：現場確認の時間によっては、第2部：会議の開催時刻が遅れる場合があります。

また、第1部：現場確認につきましては、安全上の観点から傍聴者の参加はできません(報道機関による取材は可ですが、安全のため支承部分までの取材は不可)。

4. 損傷の状況

全長735mの舞鶴クレインブリッジ、2基の支承の4個中3個のローラーが損傷したものです。(ローラーの長さ約60cm、直径約10cm、重さ約50kg)西大浦地区の一部229世帯が利用されています。

【お問い合わせ先】

建設部土木課 担当 田中、山下

【☎】0773-66-1049、1053 【FAX】0773-62-9894 【E-Mail】doboku@city.maizuru.lg.jp

舞鶴クレインブリッジ専門家会議 委員構成

種 別	氏 名	所 属
学識経験者	玉田 和也	舞鶴工業高等専門学校 教授（橋梁ドクター）
学識経験者	石川 敏之	関西大学 准教授（橋梁ドクター）
関係行政機関職員	吉津 宏夫	国土交通省近畿地方整備局 道路保全企画官
関係団体所属員	松下 裕明	（一社）日本橋梁建設協会 保全委員会 委員
関係団体所属員	高畦 武志	（一社）日本支承協会保全委員会 委員